

- ◆科目名： 英語学研究A・B
- ◆曜限： 火曜3限(13:00-14:30)
- ◆担当者： 石井 透
- ◆授業内容

この授業では、英語の統語についての分析を行うことを通じて、統語論の基本的な考え方を少しずつ身に付けていくことを目的とします。内容としては、2年次の「統語論A・B」の続きになります。

この授業で扱う内容は、徐々に蓄積されそして累進的に専門的になっていきます。従って、教科書の指定箇所は、授業に来る前に各自で読んで下さい。重要な内容を見落とし、理解不足のままにしておく、その後の授業での内容が理解できなくなります。わからないことはその都度解決するように留意して下さい。

◆授業計画

「英語学研究A」

1. (4.15) Organization Meeting
2. (4.22) Review of Chapters 1-7 (1)
Read: Aarts Ch 1 - Ch 7
3. (5.6) Review of Chapters 1-7 (2)
Read: Aarts Ch 1 - Ch 8
4. (5.13) Review of Chapters 1-7 (3)
Read: Aarts Ch 1 - Ch 7
5. (5.20) More on Clauses (1)
Read: Aarts Ch 8, 8.1 (pp. 126-130)
6. (5.27) More on Clauses (2)
Read: Aarts Ch 8, 8.2 (pp. 130-136)
7. (6.3) Movement (1)
Read: Aarts Ch 9, 9.1 (pp. 139-145)
<宿題1締め切り>
8. (6.10) Movement (2)
Read: Aarts Ch 9, 9.2-9.3 (pp. 145-153)
9. (6.17) Movement (3)
Read: Aarts Ch9, 9.4-9.6 (pp. 153-161)
10. (6.24) Syntactic Argumentation (1)
Read: Aarts Ch 10, 10.1-10.2.1 (pp. 167-172)
<宿題2締め切り>
11. (7.1) Syntactic Argumentation (2)
Read: Aarts Ch 10, 10.2.2 (pp. 172-179)
12. (7.8) Syntactic Argumentation (3)
Read: Aarts Ch 10, 10.3-10.4 (pp. 179-184)
13. (7.15) Review of Chapters 8-10
14. (7.22) 学期末試験 <宿題3締め切り>

「英語学研究B」

1. (9.30) Constituency: Movement and Substitution (1)
Read: Aarts Ch 11, 11.1.1 (pp. 189-198)
2. (10.7) Constituency: Movement and Substitution (2)
Read: Aarts Ch 11, 11.1.2-11.2.1 (pp. 198-207)
3. (10.14) Constituency: Movement and Substitution (3)
Read: Aarts Ch 11, 11.2.2 (pp. 207-213)
4. (10.21) Constituency: Some Additional Tests (1)
Read: Aarts Ch 12, 12.1-12.4 (pp. 219-225)
<宿題4締め切り>

5. (10.28) Constituency: Some Additional Tests (2)
Read: Aarts Ch 12, 12.5-12.8 (pp. 225-232)
6. (11.4) Predicates and Arguments Revisited (1)
Read: Aarts Ch 13, 13.1 (pp. 236-241)
<宿題5締め切り>
7. (11.11) Predicates and Arguments Revisited (2)
Read: Aarts Ch 13, 13.2-13.3 (pp. 241-246)
8. (11.18) Grammatical Indeterminacy (1)
Read: Aarts Ch 14, 14.1-14.2 (pp. 253-257)
<宿題6締め切り>
9. (11.25) Grammatical Indeterminacy (2)
Read: Aarts Ch 14, 14.3-14.4 (pp. 257-261)
10. (12.2) Case Studies (1)
Read: Aarts Ch 15, 15.1 (pp. 263-267)
11. (12.9) Case Studies (2)
Read: Aarts Ch 15, 15.2 (pp. 267-276)
12. (12.16) Case Studies (3)
Read: Aarts Ch 15, 15.3 (pp. 276-289)
13. (1.13) Case Studies (4)
Read: Aarts Ch 15, 15.4-15.5 (pp. 289-291)
14. (1.20) 学期末試験
<宿題7締め切り>

◆教科書 Bas Aarts (2008) *English Syntax and Argumentation (3rd Edition)*, Palgrave.

◆宿題

宿題の提出物は、3—4人でグループを作りその中で話し合って答えを1つ提出して下さい。グループ全員に同じ得点が与えられます。但し、提出当日の欠席者には得点が与えられません。

提出期限は、授業開始時とします。但し、半期で2日間の Days of Grace (猶予日) を設けます。クラスの中での提出物の提出期限を合わせて2日伸ばせるというものです。2つの提出物の提出期限をそれぞれ1日ずつ伸ばすために使うこともできますし、ひとつの提出物の提出期限を2日遅らせることに使うこともできます。

◆ 学期末試験

クラスで扱った内容がその範囲となります。多岐選択式または短答式の知識・用語に関する問題と、言語分析問題(教科書の練習問題や宿題と同型式の問題)が出題されます。

◆出席

欠席届のある部活動・実習等による欠席を含めて、半期4回以上欠席した受講生には、単位を認定しません。なお病気等やむを得ない理由で長期にわたり欠席する際には、必ず事前に相談して下さい。

◆遅刻: 15分以上の遅刻(13:15以降の入室)は欠席扱いとします。

◆成績評価

半期ごと(AとB別々)に、以下の基準に従って成績評価をします。

出席 10%(欠席届なしに1回欠席するごとにマイナス3%)、発表点 5%、宿題 25%、
期末試験 60%